

## 平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

|       |             |        |       |
|-------|-------------|--------|-------|
| 学校名   | 尾道市立御調中央小学校 |        |       |
| 学校長氏名 | 源田 芳教       | 栄養教諭氏名 | 池田 美幸 |
| 職員数   | 22名         | 児童・生徒数 | 238名  |

## 1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- ・給食のごはんを週3回家庭から持参しているが、定量を持って来る持参率が低い。
- ・食事のマナーでは、食器の置き方はかなり定着してきているが、「姿勢」や「はしの持ち方」について課題がある。
- ・地場産物や郷土料理についての理解が進んでいない。

## 2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

## (1) 本校の評価指標

- ・毎月19日に望ましい量の主食を持って来る児童の割合 50%

## (2) 広島県の食育の達成目標

- ・主食・主菜・副菜のそろった朝ごはんを食べる割合 62%
- ・地場産物・郷土料理を知らない割合の減少 地場産物 5%・郷土料理 12%
- ・食事の準備や後片付けの手伝いをする割合 75%

## 3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 主食の摂取量増加の取組

主食の摂取量の増加を図るため、毎月1回持参したごはんを計量し、指導・啓発につなげている。

- ①給食委員会が中心となり、ごはんをしっかり持って来るよう放送したり、ごはんの計量やごはんを持って来る意欲付けのためのごはんバッチのデザインを考案し、作成・配布を行った。
- ②学級懇談会で、持参するごはんの量について話題にし、学校・家庭が連携して取組を行った。



持ってきたごはんを計量している様子



給食委員会がごはんバッチを作成



持参しているごはんとはごはんバッチ



児童朝会でのごはん表彰

【取組2】（テーマ） 給食委員会が呼びかけた「地場産物・郷土料理」を覚える取組

地場産物や郷土料理についての理解が進んでいない実態から、給食委員会と栄養教諭が取組を行った。

- ①給食委員会活動で、尾道・御調の地場産物、郷土料理について家庭や地域で調べ、地場産物を8種類、郷土料理を3品決定した。給食時間に給食委員会が中心となり、5年生・6年生で覚えていった。毎日の給食時間の放送では、その日に使われている食材の産地について放送し、産地についての意識を高めた。
- ②栄養教諭は、給食委員会が考えた地場産物・郷土料理を給食指導時に必ず子供たちに確認するようにした。また、地場産物を給食で使うことができるように、給食センターと連携して、業者対象の給食試食会を給食センターで行った。



給食委員会が給食時間に郷土料理について話をしている様子

### 【取組3】(テーマ) 作って食べよう「みんなの朝ごはん」

尾道市主催で毎年行われている「健やかフェスタ」の取組を活用して、夏休みに朝ごはん作りに取り組んだ。みんなが作った朝ごはんを掲示し、朝ごはんを作る意欲、主食・主菜・副菜のそろった朝ごはんを食べようとする意欲につなげていった。



みんなの朝ごはん掲示

## 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

### (1) 市教育委員会等との連携

①尾道市学校保健会栄養士部会でメニューの開発・実施に向けて研修会等を開催した。

### (2) 学校での取組

①家庭・地域には食育通信等を使い、統一メニュー（タコタコライス）のレシピを紹介した。

②給食時間の放送で、給食委員会がひろしま給食について放送し、作ることを呼びかけた。

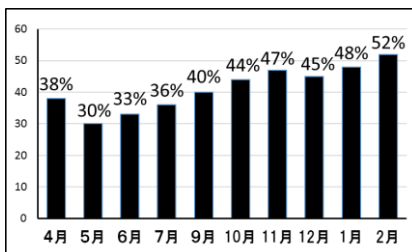
## 5 取組に対する成果と課題

### 【成果】

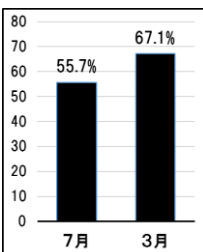
(1) 毎月19日に望ましい量の主食を持ってくる児童の割合は、2月には52%になり、目標値を達成した。

(2) 郷土料理・地場産物については、委員会活動を中心に取組を行い、目標値を達成した。また、4年生、5年生で、総合的な学習の時間に地場産物（串柿作り・米作り）についての体験活動を行っているの、しっかり覚えることができた。

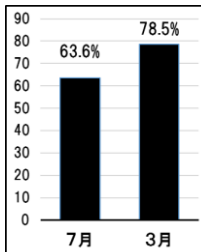
(3) 給食時間の指導を計画的に行い、朝食、郷土料理、マナー、食事の手伝いについて指導することができた。



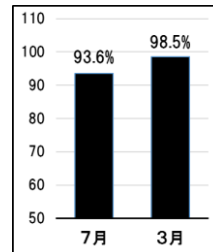
ごはんを目分量持ってきた児童の割合



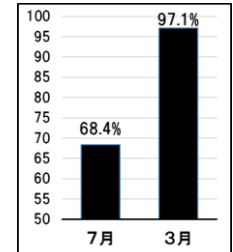
主食・主菜・副菜がそろった朝ごはんを食べる割合



食事のお手伝いをする割合



地場産物を知っている割合



郷土料理を知っている割合

### 【課題】

- ・毎月19日に望ましい量の主食を持ってくる児童の割合は、目標値の50%を超えたが、まだ約半数の子供が目分量を持ってきていない実態がある。
- ・給食時間の指導は計画的にできたが、食に関する全般的な指導が計画的な実施にはならなかった。

## 6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・給食時間の指導は計画的にできたが、食に関する全般的な指導が計画的な実施にはならなかった。食に関する指導の全体計画を見直し、計画的に担任等と連携を図り進めていく。担当校の指導も引き続き連携して行っていく。朝食についても学級活動等で指導していく。
- ・食事のマナーでは、食器の置き方、食べる姿勢、はしの持ち方について、給食時間の継続した指導を行い、学級全体でマナーの徹底を図っていく。
- ・地場産物や郷土料理を給食に計画的に取り入れ、地場産物や郷土料理について提供した情報が、児童にしっかり理解されるよう取り組んでいく。